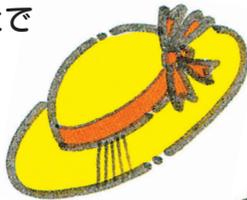
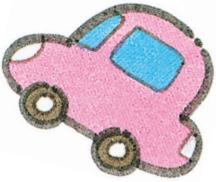
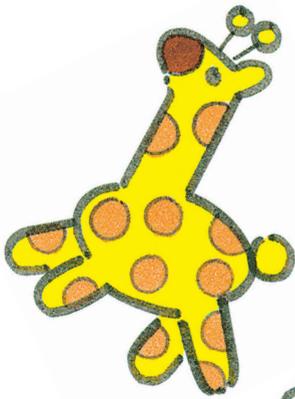


予防接種

始めましたか？

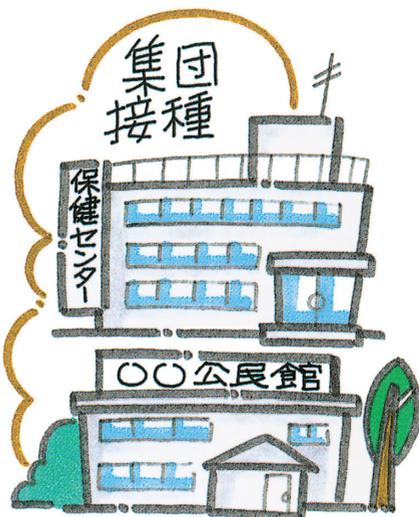
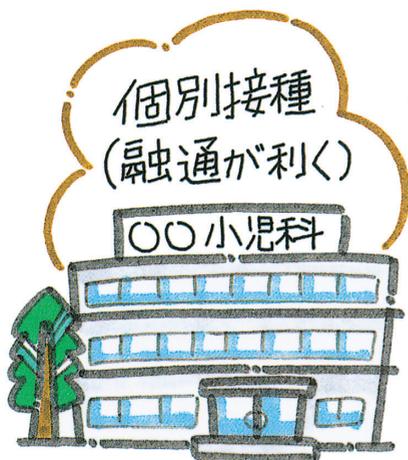
- 予防接種はどこで受けるの？
- いつからどういう順番で受けたらいいの？
- かぜ気味の時には受けられないの？
- 任意の予防接種はどうするの？
- その他にわからないことがあったらどうすればいいの？
- 予防接種のあとで



予防接種（ワクチン）を受けましょう！！お子さんの健康をしっかりガードするための、親からの最良のプレゼントは予防接種です。かかりつけ医と相談しながら、計画的に受けていきましょう。

予防接種についてよく聞かれるいくつかのご質問にお答えしましょう…





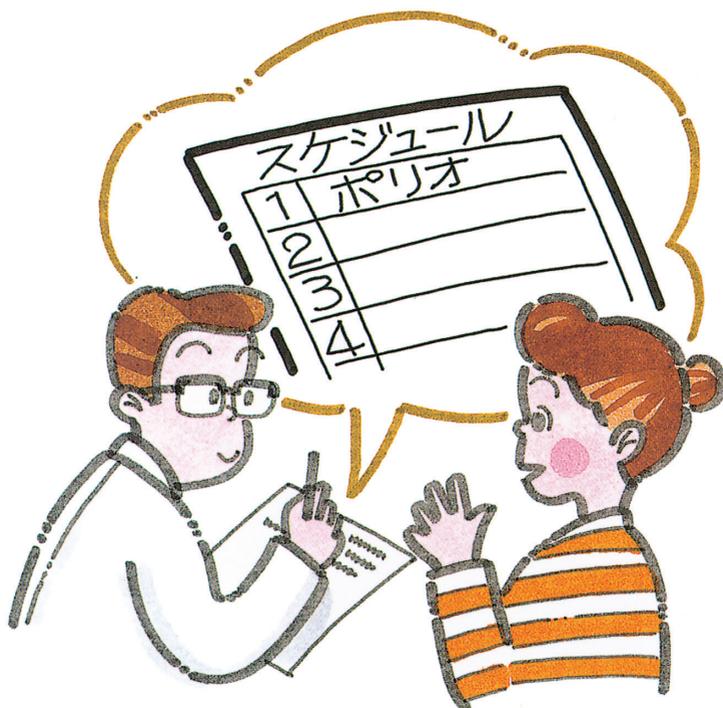
Q：予防接種はどこで受けるの？

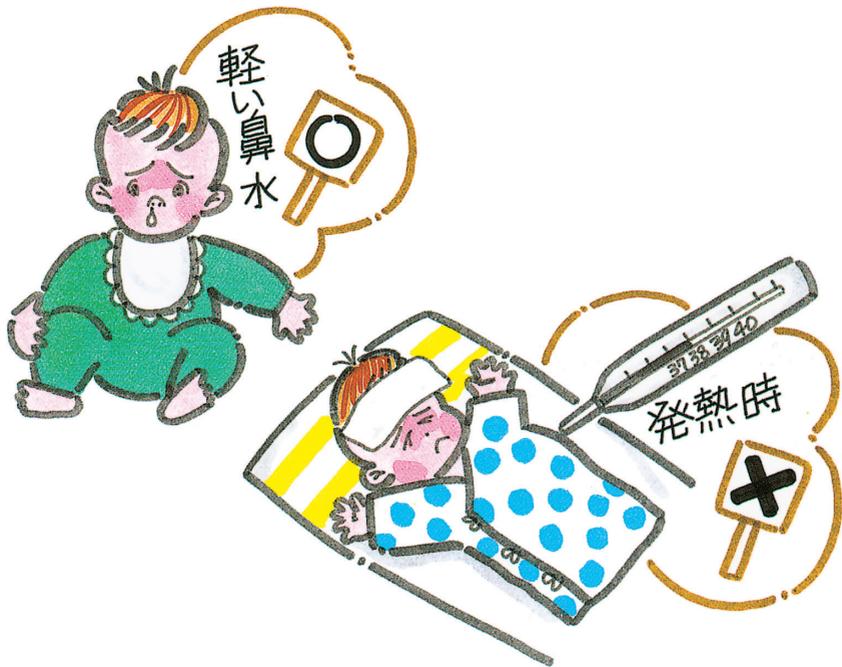
A： 定期予防接種（ポリオ・三種混合・麻疹・風疹・日本脳炎・BCG）には、かかりつけ医で受ける「個別接種」と、決まった日に地区の公民館・保健センター等で受ける「集団接種」があります。以前は集団接種が主でしたが、平成6年の法律改正以後、個別接種が推進されています。個別化の進み方は地区によって異なります。個別接種の長所は、かかりつけ医で体調の良い日を選んで受けられることです。また、日程も集団接種に比べて融通が利きますので予防接種のスケジュール全体の立て方が楽になるという利点もあります。現在個別化が進んでいるのはこのような理由からです。

任意の予防接種（上記の6つ以外）はすべて希望する人だけが個別に受けます。

Q：いつからどういう順番で受けたらいいの？

A：満3カ月になると三種混合、ポリオのワクチンが受けられます。但しBCGは必要なら3カ月以前でも可能です。これらのワクチンのどれから始めてどう進めるかは、病気の流行状況、生まれ月と集団接種の時期のかね合い、家庭の状況などによっても変わってきます。乳児健診などの機会に遠慮なくかかりつけ医に相談して下さい。かかりつけ医は、いつでも、お子さん一人一人に合わせてスケジュールを立てる用意ができています。





Q：かぜ気味の時には受けられないの？

A：受けられるかどうかは、医師の判断により決まります。一般に、軽い鼻水程度なら受けられることも多いので、かかりつけ医に相談して下さい。それより重い症状、例えば熱がある場合などは受けられません。病気が治ってからにしましょう。また、おたふくかぜ、水ぼうそうなどの病気にかかったあとの接種は1カ月位あけるのが普通ですが、症状の程度によっても変わってきます。かぜひきのあとで何日あけるかもケースバイケースです。かかりつけ医に相談して下さい。

Q：任意の予防接種はどうするの？

A：任意の予防接種には、おたふくかぜ、水ぼうそう、インフルエンザなどがあります。おたふくかぜにかかると髄膜炎、睾丸炎、難聴、肺炎などの合併症があり、できれば1～2歳のうちに接種を受けるようおすすめします。水ぼうそうは、通常軽症で合併症もまれですが、感染力が強いため最近は広く接種されるようになりました。通常1歳以上が対象です。インフルエンザワクチンは効かないと思っている人がいますが、有効です。流行期の前に1～4週の間隔で2回接種します。これら任意のワクチンもかかりつけ医と相談の上で受けましょう。



Q：その他にわからないことがあったらどうすればいいの？

A：せっかくスケジュールを立てて進めていたのに、病気にかかって予定が狂ってしまった、三種混合の1回目と2回目の間があきすぎた、予防接種を受けたいけど、やっぱり副反応が心配、など、困ったこと、どうしたら良いか迷うことなどがあったら、そのたびにかかりつけ医に遠慮なく相談して下さい。きつ的確なアドバイスが得られることと思います。



予防接種のあとで

注射した所が腫れた、熱がでた、など、心配なことが起こったら、やっぱりかかりつけ医に相談して下さい。かかりつけ医は病気の時だけでなく、予防接種についてもお母さんとお子さんの頼れる案内人でありたいと考えています。

愛 媛 県
愛 媛 県 医 師 会
愛 媛 県 小 児 科 医 会

〒790-8585 松山市三番町4-5-3
☎089-943-7582